

création vol. 100 Final Concert



Music forever

令和6年度市民舞台芸術奨励事業

2024 7|21 Sun. 12:30開場 13:00開演
函館市芸術ホール
函館市五稜郭町37-8 電話:0138-55-3521

料金 2,000円 全席自由 (チケット取扱い) クレアシオン事務局・函館市芸術ホール
主催 クレアシオン 共催 公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団
後援 函館音楽協会 お問合せ 080-4505-9171 (直通)

第1部

M.コヴァルスキ
パガニーニの主題によるプリマ・ドンナ・エチュード
Duo Prism primo 畑中 佳子 second 畑中一映

W.A.モーツアルト
ピアノ三重奏曲 二短調 K.442 より 第1・第3楽章
ヴァイオリン 田代 裕貴 チェロ 荒井 結 ピアノ 石田 雅代

R.ヴァレンタイン
協奏曲 第2番 変ロ長調
第1ヴァイオリン 田代 裕貴 第2ヴァイオリン 渡辺 拓也
チェロ 荒井 結 チェンバロ 水田眞木子 リコーダー 宍戸 良子

さくらももこ詩 相澤直人曲
さくらももこの詩による無伴奏混声合唱曲集「ぜんぶここに」より ぜんぶ

千原 英喜 曲
北からのうたごえ
•よびかわじ
•オーロラと眠りの精
•マツリ
ヴォーカルアンサンブル・ノイン パーカッション 佐々木 雅代

第2部

J.ブラームス
ピアノ三重奏曲 口長調 Op.8 より 第1楽章
ヴァイオリン 田代 裕貴 チェロ 荒井 結 ピアノ 萩田 なつき

C.シャミナード
フルートとピアノのためのコンチェルティーノ Op.107
フルート 水上 知歩 ピアノ 櫻田 佳緒莉

G.フォーレ
ピアノ三重奏曲 二短調 Op.120
ヴァイオリン 田代 裕貴 チェロ 荒井 結 ピアノ 高 実希子

第3部

M.ラヴェル
高雅で感傷的なワルツ
ピアノ 類家 唯

F.メンデルスゾーン
アンダンテと華麗なるアレグロ
ピアノ I 柴 瑞穂 ピアノ II 野村 弓子

D.ミヨー
スカラムーシュ
Duo Prism ピアノ I 畑中 佳子 ピアノ II 畑中一映

W.ルトスフスキ
パガニーニの主題による変奏曲
Duo Noir ピアノ I 萩田 なつき ピアノ II 高 実希子

Guest Player



©Tilo Stengel



ヴァイオリン 田代 裕貴
チェロ 荒井 結

création vol. 100 Final Concert

Music forever



クレアシオン Création

道南にゆかりのある音楽家達が互いの交流を通して意識の向上に努め、地域の音楽文化へ貢献することを目的として、1994年に結成。クレアシオンは「創造」を意味し、これまで99回に及ぶ演奏会の企画・運営・演奏を行う。平成23年度函館音楽協会奨励賞受賞。

創立20周年記念第80回記念演奏会「アンサンブルの精華」にて平成27年度函館市文化・スポーツ振興財団「益田喜頓賞」受賞。今回の創立30周年第100回演奏会をもってファイナルとなる。会員18名、スタッフ3名。

石田 雅代（ピアノ）

東京音楽大学附属高等学校及び同大学ピアノ専攻卒業。在学中 故・中島和彦、故・三宅民規、長島圭太各氏に師事。平成16年度函館音楽協会奨励賞受賞。ソロ・デュオ・室内楽・子供の為の演奏会等の演奏活動を行っている。リサイタル“ピアノがつなぐひととき”を毎年開催。ピアノ教室Nota Angelica主宰。函館音楽協会幹事。



高 実希子（ピアノ）

函館市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学首席、パリ国立高等音楽院卒業。ショパン国際ピアノコンクールin ASIA大学生部門最高位他、国内外での受賞歴多数。ソリスト、室内楽奏者としてフランス・ベルギー・イタリア・ロシア等海外から招聘他、国内外の著名演奏家と共に演奏を重ねる。令和2年度函館市文化団体協議会青麒麟受章。現在函館短期大学非常勤講師、HMA講師。青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会委員。函館音楽協会、(公財)日本演奏連盟各会員。

宍戸 良子（リコーダー）

北海道教育大学函館分校卒。リコーダーを本村睦幸氏に師事。2009年全国リコーダーコンテスト銀賞、2010年全道リコーダーコンテスト金賞。2014、2016年イタリアのウルビーノ古楽セミナーにおいて、アン・トル氏のソロマスターコース、室内楽を受講し研鑽を積み修了生コンサートに出演。現在道新文化センター、YWCA、山の手リコーダークラス各講師。函館音楽協会、ムジカグラツィア(東京)各会員。フィオリムジカーリ代表、リコーダーのつどい主宰。

柴 瑞穂（ピアノ）

武蔵野音楽大学卒業。1997年から1年間パリに滞在しパリ国立音楽院G.フレミー氏に学ぶ。1993年からリサイタルを連続開催、解説を入れた「おはなしコンサート」の形で好評を得ている。その他、札幌を拠点とする音楽家集団コンセルアルミのメンバーとして、クラシックにとどまらない幅広いジャンルの音楽を演奏している。北海道フーゴー・ウォルフ協会会員。札幌市において音楽教室主宰。

野村 弓子（ピアノ）

国立音楽大学卒業。札幌で市田みち氏、遠藤道子氏に師事。大学から柳川守氏(現在90代で現役演奏活動中の)のもとで学ぶ。函館では市民オペラのピアニストとして演奏活動を再開。2004年からの「音の絆コンサート」は現在も継続中。「函館中央教会チャーチコンサート」に続き「札幌羊ヶ丘教会コンサート」を開催。札幌羊ヶ丘教会会員。

畠中 一映（ピアノ）

北海道大学医学部及び同大学院卒業、国立がん研究センター中央病院リサーチレジデンス終了、博士(医学)。多方面に渡る音楽活動を行っている。クレアシオン、ヴォーカルアンサンブル・ノイン代表。函館MB混声合唱団指揮者。函館音楽協会奨励賞、函館市文化団体協議会青麒麟等受賞。現在市立函館病院消化器内科長、がんゲノム医療センター長。

畠中 佳子（ピアノ）

武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノを本間郁子、萬田真一、布施谷信子、石川哲郎、ソルフェージュを大森清の各氏に師事。北海道教育大学函館校、同附属特別支援学校非常勤講師。函館音楽協会幹事、函館MB混声合唱団ピアニスト。平成9年度函館音楽協会奨励賞、令和2年度函館音楽協会賞受賞。1999年に女声ヴォーカルグループ「Ensemble Morze (アンサンブル・モジ)」を結成し、受賞多数。

水上 知歩（フルート）

北海道教育大学函館校芸術文化課程音楽コース管楽器部門を首席で卒業。卒業演奏会にて楽友会賞を受賞。函館音楽協会主催、函館市文化・スポーツ振興財団主催の各コンサート、こども園や介護施設での演奏など積極的に行っている。SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 2020フルート部門Category D最高位入賞。令和5年度函館音楽協会奨励賞受賞。フルートを阿部博光、中山耕一の各氏に師事。日本フルート協会会員、函館音楽協会幹事。



蓑田 なつき（ピアノ）

熊本県出身。京都市立芸術大学を卒業後、ドイツへ留学しカールスルーエ音楽大学を経て、ハノーファー音楽・演劇大学大学院を修了。2011年ドイツ国内にて、東日本大震災チャリティーコンサートを行う。2012年より函館在住。同年ピアノデュオ、Duo Noir(高実希子 & 蓑田なつき)結成。令和元年度函館音楽協会奨励賞受賞。現在ソロ、ピアノデュオを始め、アウトリーチコンサート、合唱伴奏にて全国大会へ多数出場するなど幅広く活動している。

類家 唯（ピアノ）

京都市立芸術大学を卒業後、ドイツへ留学し、ハノーファー音楽・演劇大学を卒業。第15回吹田音楽コンクールピアノデュオ部門第2位。第6回かずさアカデミア音楽コンクールピアノ部門第1位。同コンクール入賞者演奏会にて、ニューフィルハーモニー・オーケストラ

千葉(山下一史指揮)と共に演。第2回野島稔・よこすかピアノコンクール最高位。令和5年度函館市文化団体協議会青麒麟章を受章。日本ピアノ教育連盟会員。HMA講師。

ヴォーカルアンサンブル・ノイン

2008年 公民館マチネベートーケン第九演奏後に結成。函館音楽協会演奏会、クレアシオンコンサート等に出演。2013年 第66回全日本合唱コンクール北海道支部大会室内楽の部金賞、同年函館音楽協会奨励賞受賞。ルネサンス・宗教曲から現代曲まで幅広く取りあげており、今回はさくらももこの詩による「ぜんぶここに」、アイヌの音楽的素材を用いて作曲された「北からのうたごえ」を演奏する。

Duo Prism: デュオ プリズム

ピアニスト畠中佳子・畠中一映による姉弟ピアノデュオ。4手連弾、2台ピアノによるデュオリサイタル、函館市芸術ホールスプリングコンサート、函館音楽協会演奏会、クレアシオンコンサートなどで演奏活動を続ける。

Duo Noir: デュオ・ノワール

ピアニスト高実希子・蓑田なつきによるピアノデュオ。2013年結成、2014年初の単独コンサート開催。函館市芸術ホールスプリングコンサート、函館音楽協会演奏会、クレアシオンコンサート東京、東京での公演やアウトリーチ事業へも参加。昨年結成10周年を迎え、繊細かつ女性の枠を超えたパワフルな演奏で活動中。令和5年度函館音楽協会奨励賞受賞。

招待演奏



田代 裕貴（ヴァイオリン）

スウェーデンを拠点とし、イエーテボリ歌劇場管弦楽団(GöteborgsOperans Orkester)第2ヴァイオリン首席奏者、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバーとしての活動を軸に、欧州と日本でのオーケストラの客演や室内楽の演奏を行っている。函館では、第1回「高実希子meets田代裕貴」やクレアシオン演奏会、ロシア極東大学函館校25周年記念コンサート等、2012年より毎年多数のコンサートに出演。

荒井 結（チェロ）

福井県出身。6歳よりズスキ・メソードでチェロを学ぶ。中学卒業後渡米、Idyllwild Arts Academy(米カリフォルニア)に留学。2003年よりドイツ国立ハンブルグ音楽大学に留学。2008年、岩城宏之音楽賞受賞、ブームス国際コンクールチェロ部門第2位入賞。現在はソロ、室内楽を中心に活動中。これまでに、故・参納純三、John Walz、Wolfgang Mehlhornの各氏に師事。東京での公演やアウトリーチ事業へも参加。昨年結成10周年を迎え、繊細かつ女性の枠を超えたパワフルな演奏で活動中。令和5年度函館音楽協会奨励賞受賞。



賛助出演



櫻田 佳緒莉（ピアノ）

北斗市出身。4歳からエレクトーン、9歳からピアノを始める。ヤマハ音楽院講師養成コース修了。エレクトーンを高美幸、梅津奈保子、白旗容子の各氏に、ピアノを宇美かおり、齋藤まさきの各氏に師事。これまでに、函館開港150周年記念式典、函館芸術ホールキッズフェスティバル、函館市文化・スポーツ振興財団が主催するざいだんアフタヌーンステージなどに出演。現在、(株)プライトサッポロ所属オルガニスト。婚礼でのオルガン演奏のほか、様々なバンドのキー・ボーディストとして活動中。また、ピアノ講師として後進の指導にあたる。

佐々木 雅代（パーカッション）

尚美学園短期大学卒業。東京ミュージック&メディアアーツ尚美音楽芸術表現コース卒業。同校コンセルヴァトアールディプロマ修了。第17回打楽器新人演奏会に出演、新人賞。HMA講師。現在、マリンバ・打楽器奏者として、ソロ、アンサンブル等での幅広い演奏活動を行なうほか、後進の指導にも積極的にあたっている。

水田 真木子（チェンバロ）

弘前市出身。宮城学院女子大学芸術学部音楽科オルガン専攻卒業。遺愛女子中学高等学校教諭を経て現在非常勤講師。オルガンを岡井晃、松尾泰江の各氏に師事。チェンバロ及び通奏低音奏法を森洋子氏に師事。遺愛学院オルガニスト、日本キリスト教団函館教会オルガニスト。

渡辺 拓也（ヴァイオリン）

埼玉県所沢市出身。北海道大学経済学部卒業。ヴァイオリンを遠藤直子氏に師事。現在、弦楽合奏団アンサンブル・アダージョ、函館オペラ管弦楽団各コンサートマスター。函館市役所勤務。